

第5分科会 教育課題

〈研究課題〉 よりよい社会の創造を目指し、教育課題の解決に向けた取組をリードする校長の在り方

〈趣旨〉

近年、急激な社会の変化に伴い、子どもたちを取り巻く環境が大きく変化し、いじめや不登校、特別な支援を要する子どもの増加など、学校が抱える課題も多様化、複雑化している。一方、地域社会では支え合いやつながりが希薄化し、地域の教育力の低下が指摘されている。そうした状況の中、学校と地域が相互に連携・協働し、未来を担う子どもたちの学びや成長を一体となって支えていくことが期待されている。持続可能な地域社会の創造に向けて、校長は、自校の実態を適切に把握し、地域の人々と目標やビジョンを共有して「地域とともにある学校づくり」を推進していかなければならない。また、諸課題の解決において、多様な教育的ニーズを踏まえた特別支援教育や成長の連続性を生かした幼保小中連携教育の推進、自分らしい生き方を育むキャリア教育の充実等の取組が肝要である。そして、一人一人の子どもの自立と共生を目指し、切れ目のない支援体制を整備していく必要がある。

本分科会では、全ての子どもが可能性を発揮し、互いの多様性を尊重して他者と協働しながらよりよい社会の創り手となることができるよう、様々な教育課題を解決していくための方策と成果を明らかにする。

〈視点〉① 家庭や地域等と連携・協働し、持続可能な社会の創造を目指す教育活動の推進
(香川)

② 多様な教育的ニーズに対応し、自立と共生の実現を目指す教育活動の推進(愛媛)